

ミスティック・リバー

映画の中の精神医学

小澤 寛樹

16

「ミスティック・リバー」は、「ダーティハリー」シリーズの刑事役で一世を風靡（ふうび）し、今や監督としても巨匠となったクリント・イーストウッドが手掛けたサスペンス作品です。主演のシモン・ペン、助演のティム・ロビンスはそれぞれアカデミー賞を獲得しています。

心的外傷後ストレス障害を描いた

「ミスティック・リバー」(2003)

逃げ出したのでした。物語は、それから30年が経過しています。ティム・ロビンズは結婚し、妻と一人息子と暮らしています。臆病（おくびょう）かつ控えめで、感情を表に出さないけれど、幸せな生活を送っているかのように見えました。

しかし、ある日、若い少年が男から虐待されているのを目撃した時、突然、忌まわしい記憶がよみがえってきます。ティムは少年を助け出しますが、混乱して、苦痛から、そのことを妻に話すことができません。一方で、同じ夜にジミーの娘



「ミスティック・リバー」のDVDジャケット（ワナー・ホーム・ビデオから発売中）

衝撃体験の恐怖におびえる

が殺されたことで疑いをかけられてしまいます。ティムはこの夜の出来事をごまかすことが多くなくなり、独り言を言い始め、時に幻想を見たり、人の声が聞こえたりしているような状況に陥ります。

①過覚醒（かかくせい）
重症な不眠。ちよっとし
たことでも動揺しやすく不安になる。時に怒りが爆発する。
②回避傾向 原因に関連する行動を避ける。ティムの場合、臆病かつ控えめな態度がこれに当たる。
③フラッシュバック 思い出したくないのに、思い出してしまう追体験。
PTSDでは強い衝撃にさらされると、パニック発作が出たり、時系列的に記憶を再現できなかったり、現実感を喪失したりします。虐待のケースでは、感情のまひや幻覚などが出現する場合もあります。治療法としては安心安全な場所でのカウンセリングと認知行動療法、選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）や抗不安薬による薬物療法があります。単一のトラウマに対して比較的良い治療効果がありますが、長期にわたる外傷においては治療に時間がかかることもあります。

われわれの日常は多くの危険に囲まれています。

長崎大精神神経科学教室
のホームページのアドレス
は <http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/psychtry/>